

第1回 嘉麻市総合計画策定審議会 会議録

1. 会議等の名称 第1回嘉麻市総合計画策定審議会
2. 開催日時 平成28年8月3日(水) 15:00~16:10
3. 開催場所 嘉麻市役所 碓井庁舎2階 会議室1
4. 公開又は非公開の別 公開
5. 出席者

(1) 出席委員

委員	出欠	委員	出欠	委員	出欠
安河内 隆	出	◎井原 徹	出	芳司 修治	出
野見山 千鶴	出	石田 浩一	出	松岡 康則	出
穂坂 拓也	出	溝口 悦子	欠	○永光 祐子	出
棚町 久敏	出	有江 真由美	出	端山 文代	出

◎印は会長、○印は副会長

(2) 執行機関

企画財政課 参事 西野由美 課長補佐 赤坂 晋 主任 松岡 彰

(3) 支援業務委託業者

ランドブレイン(株) 山田快広 喜多峻平

6. 傍聴人数(会議を公開した場合) 0人
7. 議題及び審議の内容 以下のとおり

《議題及び審議の内容》

1. 委嘱書の交付
2. 市長あいさつ
3. 会長及び副会長の選出
4. 市長からの諮問
5. 総合計画の概要について
 - ・事務局 資料に基づき説明を行う。
 - ・井原会長 何か意見等はあるか。
 - ・安河内委員 減少率としては、どういう層が多くて、またどう理由で減少しているのか。
 - ・事務局 減少の理由として、社会減と自然減がある。社会減は、転入、転出。自然減は、出生数と死亡数。毎年、社会減も自然減もどちらも300~400人程度で推移している。合わせて毎年700~800

人程度減少している。多いときは社会減が 400 人以上の年もあった。この数値を合わせると 5 年間で 3,500 人～4,000 人程度減少していると思われる。

- 井原 会長 A3資料（第2次嘉麻市総合計画策定）についての質問はあるか。
- 永光副会長 P2の将来像は役所の方々の意見なのか。
- 事務局 その通り。6月に実施した各課ヒアリングの際に自由意見、率直な意見、一個人の意見として聞いたものである。
- 永光副会長 職員の方々は、みなさん嘉麻市在住か。
- 事務局 市外在住の方もいる。
- 永光副会長 大体何割程度か。人数は。
- 事務局 そこまで確認してヒアリングはしていないので、不明である。
- 永光副会長 市内に住んで危機感を感じている職員と、外で生活していて仕事のためだけに嘉麻市に来ている人とでは、感覚が違うのではないか。私たちはここに住んでいるから、自分のまちをどうにかしなければという感覚で議論をしている。どうかなと感じている。
- 事務局 現状として、市外からの採用も多く、実数として市外在住も多くなっている。
- 永光副会長 職員の中で嘉麻市に移住しようとする人はいないのか。現状を踏まえたうえで。
- 松岡 委員 第1次総合計画を策定する際もコンサルが入っていた。第1次総合計画の検証結果、職員はどのように思っているのか。
- 事務局 第1次総合計画は、前期・後期に分かれている。後期計画について目標値達成に向けて施策を実施していく計画を策定している。6月の各課ヒアリングの際、後期計画の数値目標について進捗等のヒアリングも行っている。現在、取りまとめを行っている。
- 井原 会長 現在、後期計画の計画期間が終了していない。本来なら第1次総合計画の検証を踏まえて、第2次総合計画に反映していくことと、この目標を定めることが我々の仕事だということでもいいか。
- 事務局 現時点では検証には至っていない。現在途中である。この審議会の中でも検討し、第2次総合計画にも反映していく必要がある。
- 松岡 委員 大体どの程度、検討が進んでいるのか。
- 事務局 ヒアリングは終了している。作業はあまり進んでいない。なるべく早く検証結果を報告できればと思う。
- 井原 会長 状況が分かった時点で、情報を開示して欲しい。
A3のP1において詳細なデータはあるか。

各施策に対して重要度・満足度を聞いている程度か。

- 事務局 その通りである。
- 井原会長 雇用対策と企業誘致は性質が異なるので、分けて聞いた方が良かったのではないか。
企業誘致と中心市街地の活性化については、どこでも出てくる問題だ。これをもう少し深い意味で、自分たちのまちが中心市街地となるようなものが欲しいという意見なのか、従来ある商店街がもっと良くなればいいという話なのか、これから先、次の方向性のポイントになってくるという気がする。チャンスがあれば、各施策の細かい内容について、ヒアリングで聞くことは可能か。
- 事務局 はっきりと決まっていないが、庁内の策定委員会の下に専門部会があり、具体的な中身については、その中で議論する機会があると思う。
- 芳司委員 各課ヒアリングの将来像については、自由意見でまとめたのか。似たような意見をまとめているのか。
- 事務局 その通り。アンケート結果と関係なく全て自由意見であり、似たような意見を集約したものである。
- 芳司委員 「キラキラしているまち」とあるが、漠然としていて言葉が少し抽象的ではないか。
- 事務局 確かに抽象的。周辺集落には中山間地がかなりある。そこに人が住み続けられるような活気・活力があり、元気がある集落であり続けるということで意見が出されているのではと思う。
- 永光副会長 満足度グラフについて、グラフの見え方として半分程度が満足しているように見える。最高の満足が 2.9 で最低が 1.7 という意味なのか。
- 事務局 縦軸、横軸は、平均値を出して区切っている。昨年のアンケート調査結果で見た方が、その辺ははっきり分かるのかなと思う。平均値を境にして上下で表している。重要度が高く、満足度が低いところの施策は、ぱっとみたら少なく感じる。ある程度満足している施策が多いのかなという錯覚がある。あくまでも平均値を基準に高い低いを表したものなので、これだけでは一概に本当の満足度が見えない部分がある。
- 井原会長 重要と答えた人がたくさんいたから高くなっただけで、相対的に同じ尺度であわせようとして平均値とするだけ。重要度が高いと言っている人が多くいるわけで、平均でいったら重要度が高いの

はもっとあるかもしれない。

- 永光副会長 「農産物のブランド化など農林業の振興」があるが、他の課との連携はできていると思う。産業振興課で足白小学校跡地と活用してDMOを拠点として活用する計画がある。農産物のブランド化などはそれと関連して、早く結果が出てくるのではないかと思う。「観光施設の整備や特産品の開発など観光の振興」というのは同じようなものではないか。一緒になって考えている。
- 井原会長 今後重点的に取り組む必要のある施策について、全ての施策を頑張らなくてはならない。満足度も重要度も低いからという話ではない。例えば、「公共交通網の整備」は、市全体から見れば上の方に位置されるべきものだと思う。
このグラフは住民の意識。意識と政策をどうしていくかは、次の段階で少し検討せざるを得ないと思う。これをじっくり読み直して次のビジョンに進めていけたらと思う。政策と意識を両方加味した意見を検討していきたいと思う。

6. 今後のスケジュール等について

- 事務局 審議会は残り3回を予定しているが、今後の基本構想案のとりまとめや進捗状況により、日程は前後する可能性がある。回数も議論の内容によっては1、2回増える可能性がある。その際は対応をお願いしたい。
- 井原会長 このスケジュールでいうと、現在はどの程度作業が進んでいるのか。
- 事務局 現在は基本構想案を策定中である。策定後、策定委員会に諮ったのち、10月初旬の第2回審議会の際に基本構想案を検討したい。その後、基本計画案を検討していきたい。
- 井原会長 主要課題の方は整理が終わっているのか。
- 事務局 終わっていない。
- 井原会長 それを早くしないと。次の審議の時はどこまでできているのか。
- 事務局 2回目の際は、主要課題を含め、たたき台を出す。
- 井原会長 10月に一気に出すのではなく、事前に委員の皆さんには資料を出して欲しい。
- 事務局 そのようにする。資料は1週間から10日前に配布する。開催日時は、なるべく早く調整する。

7. その他

- 井原会長 その他、何か意見や要望はあるか。
- 松岡委員 第1次総合計画の「4 まちづくりの将来像」の中の、八丁峠トンネルが進行している。その後の延長道路について決定しているのか。山田から嘉穂町に抜ける接続道路について。
飯塚市議会で 201 号の八木山峠の4車線化早期着工の要請が出ている。嘉麻市も関係している。交通体系の問題がある。それに絡んで八丁峠トンネル沿いに市として何か計画があるのか。
八木山峠の4車線化は、飯塚市が出しているが、嘉麻市も関係がある。国に対して要望しているのか。
- 事務局 国道 322 号の山田から嘉穂地区については未定。201 号の八木山バイパスの4車線化については期成会がある。その中で陳情等をしていると思うので、状況を確認し、次回報告する。
- 松岡委員 201 号と 211 号の期成会の件も。
- 事務局 承知した。
- 井原会長 庁舎の計画、交通体系の計画の見直しについては整合性を図って欲しい。同時進行になっていくので、作業部会の方でも練り込んでいただければと思う。
- 事務局 庁舎問題について、各支所のあり方など、各地域の今後の利活用などを含めて、内部で議論、協議している。それも含めて総合計画に取り込んでいくようにしている。
- 井原会長 できる限り、将来が見える総合計画にしたいと思うのでよろしくお願ひしたい。